

2017.9.8 開会

第3回町議会定例会

平成29年第3回町議会定例会が、9月8日に開会され、15日に閉会しました。

この町議会定例会では、木幡町長の行政報告のあと、承認1件、議案10件、認定8件、同意1件、報告2件について審議しました。

おもな内容については、次のとおりです。



◆一般会計補正予算(第3号) (専決処分)

北海道新幹線長万部駅部高架化決定に係る補正予算について、歳入歳出にそれぞれ五十七万円を追加し、予算総額を四十六億五千七百七十七円とする補正予算を地方自治法第七十九条第一項の規定により専決処分したものです。

◆長万部町子ども・子育て会議案例

子ども・子育て支援法第七十七条第一項の規定に基づき設置が求められている、特定教育・保育施設の利用定員などの事務処理を行う「審議会その他の合議制の機関」について、その組織や運営など必要な事項を定めるため条例を制定するもの。

◆長万部町地域振興基金条例の一部を改正する条例

北海道新幹線長万部駅開業に向けた駅周辺整備や、老朽化した公共施設の維持・更新など、今後多額の財政需要が見込まれることから、歳計剰余金の一部を積み立てし、関連事業に充当できるように条例の一部改正を行うもの。

◆長万部町高齢者生活福祉センターの運営に関する条例の一部を改正する条例

高齢者生活福祉センターの増築に伴い、利用定員数を23人から33人に変更するもの。

◆北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更について

北海道市町村総合事務組合規約の変更について

◆北海道市町村職員退職手当組合規約の変更について

組合を構成する2団体が、処理する事務の追加及び構成する町の脱退により名称変更するもの。

◆一般会計補正予算(第四号)

平成二十九年度一般会計予算の歳入歳出それぞれ三億七千六百四十六万円を追加し、予算総額五十億二千七百八十一万六千円となりました。

補正のおもなものは、歳入が地方交付税や繰越金などの追加、歳出は、積立金や病院事業会計繰出金などの追加です。

◆介護保険特別会計補正予算(第一号)

平成二十九年度介護保険特別会計予算の歳入歳出それぞれ二千七百十三万二千円を追加し、予算総額七億七千七百五十九万三千円となりました。

◆病院事業会計補正予算(第一号)

平成二十九年度病院道事業会計予算の収益的収入に百万円を追加し、予算総額六億五千三百五十九万円となりました。

◆一般会計補正予算(第五号)

平成二十九年度一般会計予算の歳入歳出それぞれ七十四万七千円を追加し、予算総額五十億二千八百五十六万三千円となりました。

補正のおもなものは、歳入が財政調整基金繰入金の追加、歳出は、財産管理費の追加です。

財政関係

本年度の普通交付税交付額は、七月二十五日に決定されました。
— 普通交付税の算定結果は、基準財政需要額二十七億九千五百八十八万四千円から基準財政収入額六億四千四百三十五万円、調整額二百二十万六千円を控除した二十一億四千九百三十二万八千円が交付額となり、前年度と比較し、四パーセント、八千八百四十四万七千円の減額となりました。

木幡町長の 行政報告

=平成29年9月8日=

東 京理科大学 関 係

東京理科大学と本町の連携による地方創生事業の再生可能エネルギーを活用した先進的アグリビジネスプロジェクトについては、先進的農業生産システムによる本格的な量の開始に向け、本年八月一日に地方創生会社として、「一般社団法人 北海道おしゃまんべ」が設立され、いよいよ本格的に事業化に向けて動き出しました。

今年度は、レタス栽培研究に加え、より収益率の高い高糖度トマトの栽培設備の設置と生産開始を目標に、理科大所有の旧デッカ跡地で実施できるよう準備が進められているところであります。

また、今年度は理科大理工学部が設立五十周年を迎えますことから、例年実施されている同窓会行事の理科大ホームカミングデーは、同学部のある野田キャンパスで本年十月二十九日に開催されますが、

時期同じく十月二十七日より三日間の日程で開催される葛飾区産業フェアと併せて、ふるさと納税・観光・物産のPRを実施してまいります。

なお、関連する費用について、本定例会に補正予算を提案いたしております。

北 海道新幹線 関 係

平成二十九年六月三十日、北海道新幹線長万部駅の高架化が決定となりました。

これまでの間、議員各位をはじめ、北海道新幹線建設促進長万部町期成会など、関係する多くの方々が熱意を持って取り組んでいただいたことに対し、深く感謝申し上げます。

先月十日に行われた飯生神社の祭典では、高架化決定を記念し、当初より一千万発多い約二千五百発の花火が夜空に大輪の花を咲かせました。

また、六月三十日以降、役場庁舎やあつまんべなど五カ所で啓発看板を順次設置したところであります。

なお、設置に要する費用に



し、平成三十年三月竣工の予定で順調に進捗しております。この間の火葬業務については、八雲町と黒松内町の施設利用をお願いし、本町の火葬場使用料との差額を対象者へ補助しており、八月末までに九件で五万二千元を支出いたしました。

臨 時 福 祉 給 付 金

本年三月から、所得の少ない方を対象に臨時福祉給付金経済対策分の申請・支給を開始し、六月末で対象者の申請を締め切り、七月末までに八百四十一人へ総額千二百六十一万五千元の支給を完了いたしました。

農 業 関 係

家畜の主たる飼料作物の牧草は、八月十五日現在の生育状況調査では、二番草収穫作業が順調に推移しており、サイレイジ用とうもろこしの生育も平年並みに推移しております。

生乳生産量は一月から七月末日まで五千八百五十六トンを出荷し、前年に比べ百九十九トンの減となり、乳代は五億二千八百二十四円で前年に比べ千三百七十一万円の減となっております。

黒毛和牛の一月から七月までの販売頭数は百五十九頭、販売金額は一億二千二十万円となっており、前年同期と比較して販売頭数は十八頭の増となり、販売金額でも千三百七十八万円の増となりました。

インターファーム株式会社の「長万部ちらい農場」につきましては、順調に工事が進んでおり、一部の施設が完成し、九月から豚を導入する予定となっております。また、全体の完成は、来年の四月を予定しております。

葬 祭 場 改 修 関 係

ついて、七月六日付けで専決処分いたしましたので、本定例会に補正予算の承認を提案いたしております。

本町といたしましては、今回の決定を新たな出発点として、まちづくりアクションプランの策定など、新幹線の開業効果を最大限に享受するための取組を進めてまいります。

葬斎場改修工事については、七月から施設を閉鎖して着工

老 人 福 祉 セ ン タ ー

老人福祉センター渡り廊下屋根修繕工事は六月三十日発注し、七月二十四日に完成しております。

林業関係

町有林一般造林事業下刈事業の共立地区十一ヘクタール、静狩地区一七・〇五ヘクタールは、七月二十八日に完了し、春植分の共立地区三ヘクタールについても、七月二十八日に完了しております。

また、森林整備センターとの分収造林事業の下刈事業は、豊津地区 一三・九六ヘクタールを、七月十日に完了しております。

道営事業で進めている森林基幹道豊津・黒岩線の林道整備事業は、六月九日に着手しております。

有害鳥獣駆除対策

今年もヒグマやキツネ、エゾシカなどの出没が相次いでいる状況であります。特にヒグマについては、八月に入り列車と衝突し、ヒグマが死亡した事例が二件、ポニーが襲われ連れ去られたと推測される事例が一件発生しております。

ます。このような状況では、ハンターの出動要請が必要不可欠であるため、この費用について、本定例会に補正予算を提案しております。

今後ヒグマなどの有害鳥獣による人畜及び農林業等への被害を防止し、住民の生活を安全を図ってまいります。

漁業関係

漁業関係全体の一月から七月末までの水揚げ実績は、約二十八億円と前年同期と比較し、約十二億円ほど減少しております。

このうち、ホタテ貝の生産量は六千五百八十九トンで前年同期と比較し、四千九百九十九トン減少しており、水揚げ実績では、約十一億五千万円の減となっております。ホタテ貝の生産量が減少した要因として、昨年からの成育不良や弊死、更には昨年八月三十日に襲来した台風十号による影響が考えられております。ホタテ貝養殖漁業における地場採苗の状況は、六月から投入した採苗器には、多くのホタ

テ貝種苗が付着しているのが確認されており。しかし、付着したばかりの種苗は、最も弱い時期でもあり、慎重な取り扱いが必要となります。

で、各関係機関と連携を図り、生育動向を注視してまいります。

北海道が事業主体となり、水産物供給基盤機能保全事業で行う老朽化した長万部漁港及び国縫漁港の保全工事は、現在、調査設計を行っており、来年度から工事が施工開始される予定となっております。

また、長万部漁港の防砂堤新設工事に加え、今年度より静狩漁港にも防砂堤新設工事が施工される予定となっております。同じく、北海道が事業主体となり、漁村再生交付金事業にて行う国縫漁港内の用地改良及び船揚場改良工事等についても平成三十二年度完成に向けて、今年度より施工開始される予定となっております。

着量も例年並みとなっております。

商工観光関係

本町の商工観光振興の一環として実施されております

「おしゃまんべ毛がにまつり」は、毛がにの漁期の関係で七月一日・二日の開催となりました。両日ともに好天に恵まれ町民の方はもとより、町外からも大勢の来場があり、過去最多となる二万五千人の来場を頂き、お宝もちまき、毛がに早食い競争をはじめとする各種イベントで大いに盛り上がりました。販売用毛がにの数量確保は、関係機関と検討を重ね、毛がに格安販売を日曜日のみとすることで、販売数量を確保することができました。

長万部駅舎内に設置されております観光案内所では、長万部町を訪れる多くの観光客のみなさんへの町内観光地の情報提供、長万部温泉、二股ラジウム温泉の案内、飲食店や販売店の紹介等、積極的な観光アピールを行うとともに



特産品の販売を行っております。また、今年度予定しております観光案内所増床事業につきましては、観光客のみなさんへの利便性を損なわないよう観光繁忙期を避け工事を実施し、年内には完成予定となっております。

合宿誘致事業は、長万部温泉利用協同組合が積極的に誘致活動に取り組んでおり、今年度四月から中学・高校の約一〇〇の団体が、剣道・柔道・バスケットボールなど多種目にわたり合宿を行い、延べ二千九百人以上の方が宿泊されました。

八月十日に飯生神社で開催

された祭典事業につきましては、花火はもちろんのことキッズダンスサークルの子どもたちや北大よさこいチーム「縁」のみなさんの熱気により会場は大変盛り上がりしました。

建設事業

土木事業では、町道富永幹線取付道路工及普通河川フラノベツ川外の維持工事を九月下旬までの工期で施工中であります。

また、国の社会資本整備総合交付金事業を活用して実施しております橋梁点検調査についても、十二月下旬までの委託期間で実施中であります。道路維持関係では、町道中山大通線外舗装補修工事は十一月中旬までの工期で、町道新開線外側溝取替工事についても十二月中旬までの工期で施工中であります。

中学校周辺の黒松八十三本につきましては、塩害による枯死が進行しており、枝の落下、倒木の危険性が更に高まったことから、伐採を行います。

ました。

その他、道路の点検や路肩の草刈り等を計画的に実施しております。

公園事業では、単独事業で実施しております長万部公園ブランコ設置工事は、工期内の六月三十日に完成しております。

また、公園管理用乗用芝刈機は納期内の七月六日に納入されております。

建築事業では、町営住宅はまなす第二団地非常灯バッテリー交換工事を工期内の七月十日に完了しております。

また、町営住宅六棟の法定点検である特殊建築物定期調査及び町営住宅中部団地安全柵修繕工事についても実施中であります。

その他、各公共施設や町営住宅の修繕工事については、計画的に実施しております。

ガス事業

ガス本支管改良工事の本通線工区は十月三十一日、長万部線工区は十一月二十日の工期で施工中であります。

水道事業

道道長万部公園線改良工事に伴う配水管移設工事及び長万部地区一号配水池改修工事は、それぞれ十一月三十日の工期で施工中であります。

病院事業

本年四月より常勤医師が不足の状態となり、町民のみなさんにはご不便をおかけしてまいりましたが、七月一日付で岩永健志医師が採用となりました。

今後とも、町民のみなさんの健康維持と健全経営に向けての病院運営を行ってまいります。

消防関係

今年八月末日現在の火災件数は五件で、うち建物火災が二件、車両火災が二件、野火が一件となっております。



救急件数は二百二十一件、搬送人員は二百二十人で、うち、急病が百十二件、交通事故が十四件、一般負傷が二十一件、その他転院搬送などが六十九件で、ドクターヘリによる搬送は三件となっております。前年同期と比較し救急件数が五十三件増加しております。

八月五日、消防庁舎前において、消防団や危険物安全協会、社会を明るくする運動推進委員会の協力のもと、「おしゃまんべ消防フェス2017」を開催し、町内外から約二百五十人の参加者が、煙テントや消火器の操作、応急手当などを体験されました。

また、九月二日には、長万部中学校グラウンドにおいて、平成二十九年度長万部町消防訓練大会を開催し、消防関係者や来賓多数の観閲のなか、消防団員が小隊訓練や消防ポンプ操法、特別救助部隊による救助訓練を行いました。



入居者募集

(有料広告)

..... 御相談に応じます

正 掘川アパート

☎ 01377-2-2377 携帯 090-4872-6235

ストーブ・ベッド・その他完備、駐車場完備、敷金なし
月額 23,000円から45,000円まで